



指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○学年別授業改善プランの作成と実施 ○各教科において観察、実験、レポートの作成、論述の活動等を推進する ○国語 ・声の「ものさし」の活用(低) ○算数 ・問題解決的な学習の推進 ・レディネステスト等による単元毎の習熟度別編成の実施 ・計算の数値目標の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間時数確保 ・年間指導計画作成 ・週案等による時数管理 ・会議の精選 ○基礎学力の定着 ・国語・算数において、漢字・計算の習熟の時間を設ける。 ○大賀郷タイム ・基礎学力の定着のために、繰り返し行う必要のある学習を週に2日、朝学習を行う。 ○読書活動 ・週1回、15分間の読書時間を設定する。 ・月1回、15分間の読み聞かせの時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究テーマ 「学ぶ楽しさを知り、何事にも主体的に取り組む児童の育成～UDLの視点から～」 ○大賀郷タイムや YOSARE タイムによる学力の定着 ○学びの環境整備 ○学力調査や学校生活アンケートによる児童理解 ○小中一貫コーナーの設置 両校の児童生徒の様子や学習の取組状況などを職員室前の廊下に掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師による評価の工夫 ・各教科の単元毎の到達度評価の作成と実施(指導と評価の一体化を目指す) ・日常の授業における評価の推進(ノート等チェック) ○児童による評価の工夫 振り返りを大切に、次の学習への意欲付けや新しい課題発見の手だてとする。 ・自己評価活動の推進 ・相互評価活動の推進 ○学校評価の推進 ・自己点検・自己評価活動により教育課程の確実な実施と改善を図る。 ・地域・保護者による評価を実施。 ・評価項目・評価方法を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開及び保護者会をして、基本的な生活習慣と家庭学習習慣の形成を図る。 ○地域に根ざした教育を目指し、地域ボランティアとの協力・連携を図る。 ・読み聞かせボランティア等 ○学校便りの発行と地域への配布を行う。 ○ホームページで、学校の様子を積極的に地域へ公開する。 ○家庭学習習慣の確立(宿題の提出と確認) ○生活リズムの向上(生活学習がんばりカード) ○学校関係者評価を生かし、家庭・地域との一層の連携と協働を図る。